

監査 No	統合内部監査チェックリスト	承認	作成
チェックリスト No			
発行: 年 月 日	被監査プロセス: リーダーシップに関わるプロセス		
監査員:	被監査者: 経営者(トップマネジメント)		

ISO 規格 要求事項 茶字: ISO9001:2015 独自の要求事項 青字: ISO14001:20015 独自の要求事項 黒字は共通	No	質問事項	評価	メモ
		前回の宿題事項の確認		

組織の状況

<p>4.1 組織及びその状況の理解</p> <p>組織は、組織の目的及び戦略的な方向性に関連し、かつ、その品質・環境マネジメントシステムの意図した結果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を明確にしなければならない。</p> <p>組織は、これらの外部及び内部の課題に関する情報を監視し、レビューしなければならない。</p> <p>注記 1 課題には、検討の対象となる、好ましい要因又は状態、及び好ましくない要因又は状態が含まれ得る。</p> <p>注記 2 外部の状況の理解は、国際、国内、地方又は地域を問わず、法令、技術、競争、市場、文化、社会及び経済の環境から生じる課題を検討することによって容易になり得る。</p> <p>注記 3 内部の状況の理解は、組織の価値観、文化、知識及びパフォーマンスに関する課題を検討することによって容易になり得る。</p> <p>附属書 A.4.1</p> <p>組織の状況に関連し得る内部及び外部の課題の例には、次の事項を含む。</p> <p>a) 気候、大気、水質、土地利用、既存の汚染、天然資源の利用可能性及び生物多様性に関連した環境状態で、組織の目的に影響を与える可能性のある、又は環境側面によって影響を受ける可能性のあるもの</p> <p>b) 国際国内、地方又は近隣地域を問わず、外部の文化、社会、政治、法規制、金融技術、経済、自然及び競争の状況</p> <p>c) 組織の活動、製品及びサービス、戦略的な方向性、文化、能力(すなわち、人々、知識、プロセス及びシステム)などの、組織の内部の特性又は状況</p>	<p>1 当社の創業の目的・使命はどんなことでしょうか。</p> <p>2 昨年に比べて事業環境に変化がありましたか。(又は、売上・利益の状況はいかがですか。)</p> <p>3 マーケティング及びイノベーションを実施するため、競合他社と比較して、どのような強みがありますか。 (又は、その目的・使命に関連して、顧客の創造を実施するためどんな能力が重要ですか。)</p> <p>4 外部の課題にはどんなものがありますか。 (品質/環境の両方について質問)</p> <p>5 影響を受ける環境状態には、どんなことがありますか。</p> <p>6 内部の課題にはどんなものがありますか。</p> <p>7 品質パフォーマンス(顧客満足度や顧客苦情等の結果)には、どんな課題がありますか。</p> <p>8 好ましい(又は強化すべき)課題は何でしょうか。</p> <p>9 これらの課題は、どんなときに見直しされていますか。 (例えばマネジメントレビュー)</p>		
---	---	--	--

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
マネジメントシステムの有効性				
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。</p> <p>a) 品質・環境マネジメントシステムの有効性に説明責任 (accountability) を負う。 d) プロセスアプローチ及びリスクに基づく考え方の利用を促進する。</p> <p>1 適用範囲 (QMS) この規格は、次の場合の品質マネジメントシステムに関する要求事項について規定する。</p> <p>a) 組織が、顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした製品及びサービスを一貫して提供する能力をもつことを実証する必要がある場合。 b) 組織が、品質マネジメントシステムの改善のプロセスを含むシステムの効果的な適用、並びに顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項への適合の保証を通して、顧客満足の上を目指する場合。</p> <p>(EMS) 環境マネジメントシステムの意図した成果は、組織の環境方針に整合して、次の事項を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 環境パフォーマンスの向上 - 順守義務を満たすこと - 環境目標の達成 	1 2 3 4 5 6	<p>品質マネジメントシステムは、どのようなことを目的とされていますか。</p> <p>その目的の達成状況はどうですか。 ・顧客苦情やクレームはどのように推移していますか。 ・顧客満足はいかがですか。</p> <p>業務プロセスへのプロセスアプローチの活用はうまく行っているとお考えですか。</p> <p>環境マネジメントシステムは、どのようなことを目的とされていますか。</p> <p>その目的の達成状況はどうですか。</p> <p>環境パフォーマンスの推移はいかがですか。 (例えば二酸化炭素排出量、順守義務、環境事故など)</p>		
<p>5.1.2 顧客重視 トップマネジメントは、次の事項を確実にすることによって、顧客重視に関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。</p> <p>a) 顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を明確にし、理解し、一貫してそれを満たしている。 b) 製品及びサービスの適合並びに顧客満足を向上させる能力に影響を与え得る、リスク及び機会を決定し、取り組んでいる。 c) 顧客満足向上の重視が維持されている。</p>	1 2 3 4	<p>重要な顧客の期待及びニーズは何ですか。(例 納期遵守、クレームゼロ)</p> <p>徹底すべきコンプライアンスには、どんなことがありますか。</p> <p>顧客が望んでいるものを設計・製造する、及び顧客満足の上昇に影響を与えるリスク及び機会にはどんなものがありますか。</p> <p>顧客満足のデータは、どのように把握されていますか。</p>		
方針及び目標				
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。</p> <p>b) 品質・環境マネジメントシステムに関する品質・環境方針及び品質・環境目標を確立し、それらが組織の状況及び戦略的な方向性と両立することを確実にする。</p> <p>6.1 リスク及び機会への取組み 6.1.1 品質・環境マネジメントシステムの計画を策定するとき、組織は、4.1 に規定する課題及び 4.2 に規定する要求事項を考慮し、次の事項のために、環境側面(6.1.2 参照)、順守義務(6.1.3 参照)、並びに 4.1 及び 4.2 で特定したその他の課題及び要求事項に関連する、取り組む必要があるリスク及び機会を決定しなければならない。</p>	1 2 3 4 5	<p>当社の経営上のリスクにはどんなことがありますか。</p> <p>その中で、品質マネジメントシステムに関連する事項は何ですか。</p> <p>環境マネジメントシステムに関係する事項は何ですか。</p> <p>経営上の機会(チャンス)には、どんなことがありますか。</p> <p>それらの項目は、方針や目標に展開されていますか。</p>		

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
<p>a) 品質・環境マネジメントシステムが、その意図した結果を達成できるという確信を与える。</p> <p>b)c)外部の環境状態が組織に影響を与える可能性を含め、望ましい影響を増大する。又は 望ましくない影響を防止又は低減する。</p> <p>d) 改善を達成する。</p>				
<p>5.2 方針 5.2.1 品質方針・環境方針の確立 トップマネジメントは、次の事項を満たす品質方針・環境方針を確立し、実施し、維持しなければならない。</p> <p>a)組織の目的、組織の活動、製品及びサービスの性質、規模及び環境影響を含む組織の状況に対して適切であり、組織の戦略的な方向性を支援する。</p> <p>b) 品質・環境目標の設定のための枠組みを与える。</p> <p>c)適用される要求事項、組織の順守義務を満たすことへのコミットメントを含む。</p> <p>d)汚染の予防、及び組織の状況に関連するその他の固有なコミットメントを含む、環境保護に対するコミットメントを含む。</p> <p>注記 環境保護に対するその他の固有なコミットメントには、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含み得る。</p> <p>e)品質マネジメントシステム、並びに環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善へのコミットメントを含む。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>この品質・環境方針は、組織の使命又は戦略的な方向性とどのように関連していますか。 (例えば、経営理念、ビジョンなどと)</p> <p>品質・環境方針で、特に強調する箇所があれば教えてください。</p> <p>当社に関連する環境保護はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>この方針の実行に責任をもつ人々が、どのように方針の開発に参加してきましたか。</p>		
<p>5.2.2 方針の伝達 品質方針・環境方針は、次に示す事項を満たさなければならない。</p> <p>a) 文書化した情報として利用可能な状態にされ、維持される。</p> <p>b)組織内に伝達され、理解され、適用される。</p> <p>c)品質方針は、必要に応じて、密接に関連する利害関係者が入手可能である。</p> <p>d)環境方針は、利害関係者が入手可能である。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>方針をどのようにして、組織内に伝達していますか。</p> <p>品質方針について、密接な影響を持つ利害関係者から問い合わせがあったことはありませんか。</p> <p>利害関係者は、環境方針をどのように知ることができますか。</p>		
<p>6.2 目標及びそれを達成するための計画策定 6.2.1 組織は、品質・環境マネジメントシステムに必要な、組織の著しい環境側面及び関連する順守義務を考慮に入れ、かつリスク及び機会を考慮し、関連する機能、階層及びプロセスにおいて、品質・環境目標を確立しなければならない。</p> <p>品質・環境目標は、次の事項を満たさなければならない。</p> <p>a) 品質方針・環境方針と整合している。</p> <p>b) 測定可能である。</p> <p>c) 適用される要求事項を考慮に入れる。</p> <p>d) 製品及びサービスの適合、並びに顧客満足の上昇に関連している</p> <p>e) 監視する。</p> <p>f) 伝達する。</p> <p>g) 必要に応じて、更新する。</p> <p>組織は、品質目標に関する文書化した情報を維持しなければならない。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>品質目標を設定するために使用するプロセス及び組織のゴールを達成するための基本的な段階は何ですか。 (昨年の未達成原因の分析、方針、リスク及び機会、予算等)</p> <p>環境目標は、どのような事柄を考慮に入れて、策定されていますか。</p> <p>どのような品質目標、環境目標がありますか。</p> <p>業務プロセスの目標はありますか、業務プロセスでは品質目標・環境目標以外に、S(安全)やD(納期)などの目標も設定されているのでしょうか。</p>		

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
役割・資源・伝達				
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。 j) その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。</p> <p>5.3 組織の責任及び権限 トップマネジメントは、関連する役割に対して、責任及び権限が割り当てられ、組織内に伝達され、理解されることを確実にしなければならない。 トップマネジメントは、次の事項に対して、責任及び権限を割り当てなければならない。 a) 品質・環境マネジメントシステムが、この規格の要求事項に適合することを確実にする。 b) プロセスが、意図したアウトプットを生み出すことを確実にする。 c) 品質・環境マネジメントシステムのパフォーマンス及び改善の機会をトップマネジメントに報告する。 d) 組織全体にわたって、顧客重視を促進することを確実にする。 e) 品質マネジメントシステムへの変更を計画し、実施する場合には、品質マネジメントシステムを“完全に整っている状態”に維持することを確実にする。</p>	1 2 3 4 5	<p>組織図とそれぞれのその役割(責任分担表)を見せてください。</p> <p>管理職の人が、それぞれの分野でリーダーシップを発揮できようどんな支援されていますか。</p> <p>誰が QMS/EMS のパフォーマンス及び改善の機会をトップマネジメントに報告しますか。</p> <p>どのような機会に、組織全体に顧客重視を徹底させていますか。</p> <p>品質マネジメントシステムに変更があった場合、誰が変更を計画しますか。</p>		
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。 e) 品質・環境マネジメントシステムに必要な資源が利用可能であることを確実にする。</p> <p>7.1.1 資源 組織は、品質・環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び継続的改善に必要な資源を明確にし、提供しなければならない。 組織は、次の事項を考慮しなければならない。 a)既存の内部資源の実現能力及び制約 b)外部提供者から取得する必要があるもの ISO14001 A.7.1 抜粋 資源には、人的資源、天然資源、インフラストラクチャ、技術及び資金が含まれ得る。人的資源の例には、専門的な技能及び知識が含まれる。インフラストラクチャの資源の例には、組織の建物、設備、地下タンク及び排水システムが含まれる。</p>	1 2 3	<p>品質マネジメント、環境マネジメントに必要な資源な資源を特定するためにどのような監視をされていますか。 (例えば 日程表や予想される作業負荷の監視)</p> <p>昨年は、どのような資源を提供されましたか。</p> <p>外部提供者(親会社・派遣先・下請先)から取得する必要のある資源にはどんなものがありますか。</p>		
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。 f) 有効な品質・環境マネジメント及び品質マネジメントシステム要求事項への適合の重要性を伝達する。</p> <p>7.3 認識</p>	1 2	<p>どのような方法で品質・環境マネジメントシステムの要求事項の遵守の価値及び重要性を伝達されていますか。 (例えば 朝礼、会議、イントラネットなど)</p> <p>品質方針、環境方針についても説明されていますか。</p>		

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
<p>組織は、組織の管理下で働く人々が、次の事項に関して認識をもつことを確実にしなければならない。</p> <p>a)品質方針、環境方針</p> <p>b)関連する品質目標、及び自分の業務に係る著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響</p> <p>c)パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、品質・環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献</p> <p>d)組織の順守義務を満たさないことを含む、品質・環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味</p>				
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。</p> <p>h) 品質・環境マネジメントシステムの有効性に寄与するよう人々を積極的に参加させ、指揮し、支援する。</p> <p>7.4(EMS 7.4.1) コミュニケーション 組織は、次の事項を含む、品質・環境マネジメントシステムに関連する内部及び外部のコミュニケーションを決定しなければならない。</p> <p>a) コミュニケーションの内容 b) コミュニケーションの実施時期 c) コミュニケーションの対象者 d) コミュニケーションの方法 e) コミュニケーションを行う人</p>	1 2 3	<p>方針及び目標の周知やマネジメントシステムの有効性を向上するためにどのような内部コミュニケーション(会議等)を行いますか。</p> <p>代表者自らがリーダーとなって推進するプロジェクトや委員会はありますか。</p> <p>環境に関する外部への情報公開はどのように実施されていますか。</p>		

パフォーマンス評価

<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。</p> <p>g) 品質・環境マネジメントシステムがその意図した結果を達成することを確実にする。</p> <p>9.3 マネジメントレビュー 9.3.1 一般 トップマネジメントは、組織の品質・環境マネジメントシステムが、引き続き、適切、妥当かつ有効で更に組織の戦略的な方向性と一致していることを確実にするために、あらかじめ定めた間隔で、品質マネジメントシステムをレビューしなければならない。</p>	1 2 3 4	<p>マネジメントシステムが意図した結果を達成しているか、どのような方法で監視されていますか。</p> <p>マネジメントレビューはどのような形式をとりますか？ (例えば マネジメントレビュー会議、品質会議、フィードバックのための文書回覧等)</p> <p>レビューには誰が関わりますか？ (特に、経営者では)</p> <p>前回はいつ実施されましたか。</p>		
--	------------------------------	---	--	--

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
<p>9.3.2 マネジメントレビューへのインプット マネジメントレビューは、次の事項を考慮して計画し、実施しなければならない。</p> <p>a) 前回までのマネジメントレビューの結果とった処置の状況</p> <p>b) 次の事項の変化</p> <p>1) マネジメントシステムに関する外部及び内部の課題、リスク及び機会の変化</p> <p>2) 順守義務を含む、利害関係者のニーズ及び期待</p> <p>3) 著しい環境側面</p> <p>c) 次に示す傾向を含めたマネジメントシステムのパフォーマンス及び有効性</p> <p>1) 顧客満足及び苦情・要望等の利害関係者からの情報</p> <p>2) 品質・環境目標が達成されている程度</p> <p>3) プロセスのパフォーマンス及び製品の適合性</p> <p>4) 不具合・不適合及び是正処置</p> <p>5) 監視及び測定の結果</p> <p>6) 順守義務を満たすこと</p> <p>7) 監査結果(外部審査及び内部監査)</p> <p>8) 外部提供者のパフォーマンス</p> <p>d) 資源の妥当性</p> <p>e) リスク及び機会の取組みの有効性</p> <p>f) 改善の機会の提案</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>マネジメントレビューの記録を見せてください。</p> <p>(左のインプット情報が網羅されているかを確認する。)</p> <p>それぞれの項目について、誰が報告されましたか。</p> <p>どのような議論が行われましたか。</p> <p>改善の機会の提案はありましたか。</p>		
<p>9.3.3 マネジメントレビューからのアウトプット マネジメントレビューからのアウトプットには、次の事項を含めなければならない。</p> <p>1 環境マネジメントシステムが、引き続き、適切、妥当かつ有効であることに関する結論</p> <p>1 継続的改善の機会に関する決定</p> <p>1 品質・環境マネジメントシステムのあらゆる変更の必要性</p> <p>1 資源の必要性</p> <p>1 必要な場合には、環境目標が達成されていない場合の処置</p> <p>1 必要な場合には、他の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合を改善するための機会</p> <p>1 組織の戦略的な方向性に関する示唆</p> <p>組織は、マネジメントレビューの結果の証拠として、文書化した情報を保持しなければならない。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p>マネジメントシステムは戦略的方向性と一致していましたか。</p> <p>マネジメントシステムは、現在もその目的に合致していると判断されましたか。(適切)</p> <p>マネジメントシステムは、現在も十分であると判断されましたか。(妥当)</p> <p>マネジメントシステムは、現在も意図した結果を達成していましたか。(有効)</p> <p>改善の機会として指示事項はありましたか。 (例えば、目標が達成されていない場合の処置、不適合の再発を防止するための根本原因分析、小集団活動の実施、新規のプロジェクトの発足など)</p> <p>マネジメントシステムの変更の指示事項はありましたか。 (例えば、製造ラインの場所の変更、新しい製造技術の採用、新しいソフトウェアの導入、プロセスの外部委託など)</p> <p>資源の必要性に関する指示事項はありましたか。 (例えば、人々、設備能力、組織の知識、予算など)</p>		

規格要求事項(黒:共通、茶:QMS 独自、青:EMS 独自)	No	質問事項	評価	備考
<p>5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1 一般 トップマネジメントは、次に示す事項によって、品質マネジメントシステムに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。 i) 改善・継続的改善を促進する。</p> <p>10.1 改善 一般 組織は、顧客要求事項を満たし、顧客満足を上させるために、また、環境マネジメントシステムの意図した成果を達成するために、改善の機会を明確にし、選択しなければならない。また、必要な取組みを実施しなければならない。 これには、次の事項を含めなければならない。 a) 要求事項を満たすため、並びに将来のニーズ及び期待に取り組むための、製品及びサービスの改善 b) 望ましくない影響の修正、防止又は低減 c) 品質マネジメントシステムのパフォーマンス及び有効性の改善</p> <p>注記 改善には、例えば、修正、是正処置、継続的改善、現状を打破する変更、革新及び組織再編が含まれる。</p> <p>ISO14001 A10.1 組織は、改善のための処置をとるときに、環境パフォーマンスの分析及び評価からの結果、並びに順守評価、内部監査及びマネジメントレビューからの結果を考慮することが望ましい。改善の例には、是正処置、継続的改善、現状を打破する変更、革新及び組織再編が含まれる。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>経営中期計画は策定されておられますか。</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度ごとに年度方針(又は年度目標)を策定されているのでしょうか。</p> <p>次年度の年度方針や目標を策定する際は、マネジメントレビューからの結果を考慮されていますか。</p> <p>現状を打破する変更、革新及び組織再編等の改善の必要性はありませんか。</p>		